

TRAFFIC ADVICE [本田技研工業(株) モンパル安全運転指導員研修]

★交通教育センターから



モンパルの基本操作をお客様へわかりやすく伝えるために小グループで練習に取り組む

お客様に安全にご利用いただくために モンパル販売時の安全運転指導員を養成

4月10日、交通教育センターレインボー埼玉で、「モンパル安全運転指導員研修」が行われた。

本田技研工業株式が販売する、電動カートモンパルは、運転免許が不要で、歩道を通行できる安心感と利便性から、高齢のお客様を中心に活動的な生活をサポートする乗り物として注目されている。初めて乗車するお客様にも安全・快適に利用していただけるよう、取扱店にはモンパル安全運転指導員とサービス講習修了者をおき、販売時にはお客様に正しい操作方法や乗り方の講習の実施に努めている。

これまで取扱店は、二輪・汎用特約店のみだったが、5月より四輪販売会社(一部)にも拡大された。モンパル安全運転指導員の資格を取得するため、この日の研修には、関東地方の四輪販売店スタッフ26名が参加した。

午前10時、最初は座学で、モンパルの法的位置づけなどを学ぶ。「歩道を通行する際には、歩行者や自転車利用者にも注意が必要です。お客様が実際にスムーズな操作ができるようになるまで、ていねいにアドバイスしてくだ



モンパルサービス講習では、モンパルの構造や修理方法を学ぶ

さい」とインストラクター。

11時から実技で、乗車時の服装、点検方法、車両感覚、乗降車、発進停止などモンパル取り扱いの基本を学ぶ。5、6人の小グループで、実際にモンパルを使いながら行われた。「発進・後退・停止は、実際に走行する前に、操作手順をイメージトレーニングすることが大切です。じっくり操作を覚えてから乗ることで、安全な走行につながります」とインストラクターが説明する。参加者はお互いに、お客様に指導する様子をシミュレーションしながら練習を繰り返した。

昼食をはさみ、午後は実際に乗車しての実践練習。スピードを変えながらの発進停止や、細い道での走行練習、Uターン、バック、段差走行などを行った。受講者は、お客様が乗車されてからどんな時に不安を感じるのか、わざと狭く曲がりくねったコース等を設定し練習に取り組む。曲がりきれずに、何度もバックして切り返すなどの苦勞を体験した。「レバーから手を放せば



電動カート モンパル ML200

簡単に止まることができません。あわてて操作を誤り、壁などにぶつからないように、最初に停止方法を十分に練習することが大切です。」

実践を積んだ後は、午後3時から再び座学。実技練習で学んだことを振り返り、販売の際の注意点を確認する。受講者からも、積極的に質問が飛び交い、研修は午後5時に終了した。

受講したホンダカーズ狭山中央人間東店の嶋海義己さんは「基本操作は簡単ですが、お客様の中には運転免許を持たない方もいらっしゃいます。販売の際には、今日の体験を踏まえながら、わかりやすくていねいな説明を心がけたいと思います。実際にご乗車いただき、実技を交えた説明をすることで、安心してご利用いただけると思います」と話す。モンパル販売に向けて、各販売店の安全指導の体制を整えている。



狭い場所での運転を自ら体験し、お客様へのアドバイスに役立てる

※モンパル安全運転指導員=店頭やお客様のご自宅などでモンパルの正しい乗り方や取り扱いなどについてアドバイスができるHondaの社内資格を持ったスタッフ

NEWS REVIEW

●安全 健康 快適 フェア 2008 -安全衛生総合展-
Hondaのシミュレーターや動画KYTを使った交通安全教育を体感



たくさんのお客様で賑わうHondaのシミュレーター体験コーナー

5月22日から24日までの3日間、東京ビッグサイト(東京都

江東区)にて「安全 健康 快適 フェア 2008-安全衛生総合展」が開催された(主催:(財)全国安全会議、中央労働災害防止協会)。この催しは、安心安全な職場、家庭、社会作りに役立つ様々な分野からの安全・健康・快適に関する最新の技術と情報の提供を行う総合展示会で、今年は75社・団体が出展した。

会場には、震災対策コーナー、交通安全コーナー、健康パーク、防犯・学校安全コーナー、医療安全コーナーが設けられ、参加・体験型のイベントや各コーナーのテーマに合わせた講演・セミナーが開催された。

交通安全コーナーの一角には、Hondaドライビングシミュレーター、ライディングシミュレーター、自転車シミュレーター、動画KYTが展示され、多くのお客様がシミュレーターによる運転や動画KYTを体験し、人気を集めた。

●富山県Honda会



富山県でHondaの四輪販売会社が同日、一斉に交通安全教室を開催

富山県内のホンダカーズ(四輪販売会社)で構成する「富山県Honda会」では、4月12日、19日に「春の交通安全教室」を開催した。これは「春の全国交通安全運動」に合わせて、県内にあるホンダカーズ8社27店で一斉に交通安全教室を行うというもの。

このイベントを企画したホンダカーズ富山中央社長であり富山県Honda会副会長の深尾義東さんは「Hondaの安全運転教育をより多くの方々に提供しよう」と、富山県Honda会が「丸」となって取り組んでいきます。事前に新聞広告で告知し、どなたでも参加できるようにしました。県内の皆様に、Hondaの四輪販売会社が日頃から行っている店頭での安全運転普及活動を体験していただきたい」と話す。



Honda Cars 富山が5店舗合同で開催したドライビングスクール。広いコースを使って、参加者がABSなどを体験

交通安全教室では、各店のセーフティコーディネーターがお客様に正しい運転姿勢、車庫入れやエコードライブのコツなどを店頭で指導した。

4月19日には交通安全教室を発売させた第3回ドライビングスクールを、ホンダカーズ富山が主催し、富山県運転研修センターで行った。同社社長であり富山県Honda会会長の田中龍郎さんは「広いコースを使っ

て、店頭ではできない安全運転指導をやりたいて考えて始めました。実技体験を通じて、お客様に安全運転に対する理解を深めていただくことが目的です」という。

この日は、ホンダカーズ富山5店舗(清水店・掛本店・新庄本町店・赤江店・婦中店)のお客様30人が参加。参加者は濡れた路面で60km/hから急制動を行い、ABS(アンチロックブレーキシステム)が作動した状態を体験した。信号の合図で指定された方向に障害物を避けるという危険回避では、速度(30・35・40km/h)が変わると、どのような違いがあるかを体験する。

この他、シートベルトコンビンサーによる衝突体験(2面参照)、日常点検項目の確認、動体視力の検査などが行われた。参加者からは「普段できないトレーニングができて、安全運転を考えるいい機会になりました」という感想が聞かれた。

田中さんは「クルマの販売だけでなく、「安全」という付加価値をお客様に提供していくことも四輪販売会社の使命です」と語る。

※セーフティコーディネーターはお客様に、店頭などで安全アドバイスができるHondaの社内資格を持ったスタッフ



4月12日と19日に、富山県内のHonda Cars各店のセーフティコーディネーターがお客様に安全運転指導を行った